

多文化社会学部・現役生が
ちょこっとまとめてみました。

ここで過ごす魅力。



Edit by Airi@Osaka

ジェンダーギャップ解決のため国際NGOで働く未来を思い描いていた。しかし「なんでわざわざ大阪から長崎へ？」と聞かれているうちに、都会>地方の構図に疑問を持つ。現在は地方創生を学ぶため、長期インターンに挑戦中。

01. 留学だけじゃない。色んな道が広がっている。

留学する人ももちろんいます。けど「しない」という選択肢を取る人も意外にいます。大事なことは留学をするかどうかじゃない。自分がしたいことを四年間で実現できるか、見つけられるかです。

02. ‘皆同じじゃない’が心地良い。

自分の「やりたい！」を気兼ねなく発信する学生が多いです。そして周りに合わせる必要もありません。だって全国各地から集まる仲間たちなんて違うことが当たり前だから。違いを受け止めてくれる温かさがあります。

05. 「 」

4年間を過ごした君はここになんと書くだらう。興味を大切にしよう。関心を言葉にしよう。君の興味関心で「 」を埋めていこう。

04. 多種多様な学問と先生達に囲まれて。

勉強する中で感じるのはいくつかの事象を色々な切り口で見ると面白さでした。分野に捉われない学びが追求するのは‘唯一の正解のない答えを探すこと’。迷うこともあるけれど、個性豊かな先生達がちゃんと見ているから大丈夫と思えるんです。

03. 外国語は見識を広めるためのツールである。

語学習得の醍醐味はその言語の先に広がる社会を知れること。外国語が話せることをゴールにしがちだけれど、そこは多様な学びへのスタート地点なのです。日本語だけでは分からない文化へのアプローチが広がっていく。語学力は自分の強みとなってくれます。

Kazusa@Hyogo

入学当初は国連職員になって武器・戦争をなくすことが夢でした。3年経った今は、MR（製薬会社の医薬品営業職←文系でもなれる！）として多くの患者を救う道を選びようとしています。でも「平和への貢献」への思いは変わりません。戦争廃絶だけが平和じゃない、医療問題の解決も平和に繋がります。多文化で学んだのは世界中の人が幸せになった状態も平和だということです。「平和」の定義が色々ある中で、僕は良い薬を届けることでそれを実現したい。それが今の夢です。多文化であなたの「平和」を見つけてください。

#見つけた平和貢献の形 #こんな方向転換もいいよね

Haruka@Shimane

この学部に入學して年齢、性別、国籍を越えて友達と出会ったことは、僕の世界を広げてくれた経験でした。ユニークな彼らと過ごすうちに互いの個性を大切にすることを学びました。勿論違うからこそその難しさもありましたが、その度に会話を通してきちんと向き合いました。この経験を通して一番伝えたいのは、皆が思っているよりも身近なところから世界は広げられるということです。長崎大学という限られた場所でも僕は「世界」がこれだけ広がりました。だから皆にもまだ見ぬ景色がきっと待っています。自分の興味関心をこの学部で「爆発」させてください。

#分け隔てなく、いつも自然体 #周りに人が集まる人

2019年の私から2022の私、そして未来へ。

Rico@Nagasaki

3年次のドイツ留学では多文化で語学力を向上させたことが活かされました。勉強面ではドイツ語・英語の文献が読めることで得る知識が格段に増え、講義でもよい成績を残すことができました。生活面ではヨーロッパ各地から集まる生徒と2言語を交えた会話で深い交友関係を築き、ドイツ語が分からない時は英語でカバーするなど...試行錯誤しながらも現地に早く馴染めました。「言語ができたらとりあえずどうにかなる！」と思いながら充実した留学生活を送れたと感じています。大学まで外国語を話す機会がほぼ0でも大丈夫です。是非多文化に来て学んで下さい！

#好奇心のままに #旅の財産はステキな出会い

Kaede@Okayama

国際平和に携わる仕事への憧れを持って入学しました。最初の頃は国際問題だけでなく、宗教学や社会学などの幅広い学問を同時に学ぶことの意味があまり理解できませんでした。しかしイギリス留学ではそうした多様な学びがあったからこそ国籍や文化がバラバラな人々と議論を深めることができました。今となっては国際平和に目を向けるたびに考えるのは国際法や国際政治では語ることが出来ない「隠された」部分です。その部分を理解するために一見関係のないように見られる学問を学ぶことの楽しさを感じています。皆さんもそうした楽しみを多文化で是非見つけて下さい。

#コロナ禍でも諦めなかった留学 #思い貫く強さ